

【様式第四（療養費明細書）「訪問日」欄の記号の記載方法】

◆「全ての記号を重ねる」場合

※ファーストインストール時の設定では「全ての記号を重ねる」が選択されています。

様式第四(明細書)
「訪問日」欄 ※同日に2つ以上の記号がある場合の設定

- 全ての記号を重ねる
- 1つの記号だけ記載する(優先設定順)
- 2つ目以降の記号は日付の右余白に並べる(優先設定順)

優先設定(高 > 低):

□ > ▽ > ◇ > ◎ > △ > ○

訪問日

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※特別指示期間を示す△と複数回訪問を示す◎、◇など全て重ねて記載されます。

◆「1つの記号だけ記載する」場合

優先度の高い記号を1つ記載します。

優先度の設定は審査支払機関の指導ルールに基づき、設定してください。

様式第四(明細書)
「訪問日」欄 ※同日に2つ以上の記号がある場合の設定

- 全ての記号を重ねる
- 1つの記号だけ記載する(優先設定順)
- 2つ目以降の記号は日付の右余白に並べる(優先設定順)

優先設定(高 > 低):

□ > ▽ > ◇ > ◎ > △ > ○

○(実施日:1日1回) 険種別等が変更の場合
△(特別指示期間中の実施日) 後の初回訪問日を記載
◎(実施日:1日2回)
◇(実施日:1日3回)
□(長時間訪問看護加算の算定日)
▽(複数回訪問看護加算の算定日)

同日に2種類以上の記号がある場合は、1つだけ記載。
例) 28日 特別指示期間内に長時間訪問看護加算の算定がある。→優先度の高い長時間訪問看護加算の記号を記載

訪問日

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

◆「2つ目以降の記号は日付の右余白に並べる」場合

優先度の高い記号を1つ訪問日に記載します。2つ目以降は訪問日の右に並べて記載し、最大3つまで記載されます。4つ以上ある場合は切り捨てとなります。優先度の設定は審査支払機関の指導ルールに基づき、設定してください。

様式第四(明細書)
「訪問日」欄 ※同日に2つ以上の記号がある場合の設定

- 全ての記号を重ねる
- 1つの記号だけ記載する(優先設定順)
- 2つ目以降の記号は日付の右余白に並べる(優先設定順)

優先設定(高 > 低):

□ > ▽ > ◇ > ◎ > △ > ○

○(実施日:1日1回) 険種別等が変更の場合
△(特別指示期間中の実施日) 後の初回訪問日を記載
◎(実施日:1日2回)
◇(実施日:1日3回)
□(長時間訪問看護加算の算定日)
▽(複数回訪問看護加算の算定日)

同日に2種類以上の記号がある場合は、1つだけ訪問日に重ね、残りは右余白に記載します。
例) 28日 特別指示期間内に長時間訪問看護加算の算定がある。かつ複数回訪問を行った日である
→優先度の高い長時間訪問看護加算の記号を訪問日に記載。
複数回訪問◎と特別指示期間△は右余白に記載

訪問日

15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				